

評価指標

評価項目（新規：★）		現状 （令和4年度）	目標 （令和14年度）
「食育」という言葉を知っている者の割合		92.5%	100%に近づける
食育に関心がある者の割合		66.4%	90%以上
朝食を毎日食べる者の割合	乳幼児	96.7%	100%に近づける
	保育所児	98.9%	100%に近づける
	小学校児童	94.7%	100%に近づける
	中学校生徒	88.4%	100%に近づける
	妊婦	78.2%	95%以上
	20歳代	64.0%	85%以上
	30歳代	70.7%	85%以上
	40歳代	75.2%	85%以上
	50歳代	84.8%	95%以上
	60歳代	89.4%	95%以上
	70歳以上	96.0%	100%に近づける
食事の時、栄養バランスに配慮する者の割合	乳幼児	78.2%	80%以上
	妊婦	73.3%	80%以上
	20歳代	57.3%	60%以上
	30歳代	48.4%	60%以上
	40歳代	60.4%	70%以上
	50歳代	64.8%	80%以上
	60歳代	68.2%	80%以上
	70歳以上	80.0%	80%以上
★主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合		49.8%	50%以上
★朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数		今後調査	週11回以上
生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践している者の割合		69.4%	75%以上
給食での地場産物の年間利用回数の割合	保育所給食	29.8%	現状より上昇
	小学校給食	35.9%	現状より上昇
食品ロス（食べられるのに廃棄する）削減のために何らかの行動をしている者の割合		60.2%	80%以上
★産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合		65.5%	80%以上
★環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ者の割合		62.4%	75%以上
★郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている者の割合		52.1%	現状より上昇
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や食事のマナーなどを伝えている者の割合		40.0%	現状より上昇

概要版

精華町食育推進計画

令和5（2023）年度～令和14（2032）年度



健康増進計画マスコットキャラクター

精華町が目指す食育

「食」を育む

「食」で育む

健康

地産地消

環境への配慮と
食への感謝

食の安全・安心

食文化の継承

コミュニケーション

「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる

食を通じて豊かな人間性を育んだり、地域産業の活性化を図り、食文化の継承や共食などを通じて地域の絆を深める

令和5（2023）年3月
精華町

《編集・発行》

精華町健康福祉環境部健康推進課
〒619-0285
京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地
TEL：0774-95-1905（直通） FAX：0774-95-3974

精華町の食育の取組

基本目標1 健康寿命の延伸につながる食育の推進

妊産婦や、乳幼児から高齢者に至るまで、生涯を通じて望ましい食習慣を実践できるよう、住民一人ひとりが「食」への関心を高め、実践につながる取組を展開します。



町内商業施設内の「食」の掲示

健全な食習慣の実践につなげるため、ICT等を活用した情報を提供したり、体験教室を開催したりします。
働く世代が健全な食生活を実践しやすいよう、企業等と連携していきます。



せいか食育劇団もぐもぐによる食育劇の様子



食育とは健全な食生活を送るために食に関する知識と選択力を育むことだよ。

基本目標4 食文化の理解と継承

次世代を担う子どもを対象とした取組を行うとともに、これまで地域で受け継がれてきた食文化を後世に伝えるために、情報発信や体験の機会を充実していきます。



あすなる会の伝達講習会の様子



あすなる会：正式名称「精華町食生活改善推進員協議会」。地域などで食生活改善事業を実施するボランティア団体です。



あすなる会が考案した料理レシピ



料理教室の開催情報は、町広報誌や町ホームページでお知らせしているよ！

基本目標2 食の安全・安心の確保

安全な給食を提供するとともに、「食」に関する正しい知識と理解を深め、自分自身でよりよい選択ができる力を身につけるための取組を進めていきます。
近年多発する大規模災害に対する備えの観点から、食料備蓄を推進するなど災害に備えた食育の推進に努めます。



安全・安心な給食の提供や町内飲食店におけるアレルギー表示等の推進を行います！



小学校給食調理の様子



食の健康づくり応援店：「野菜たっぷり」や「塩分ひかえめ」メニューの提供、「エネルギー表示」「食物アレルギー表示」等、食を通じた府民の健康づくりに積極的に取り組む飲食店のことです。



食の健康づくり応援店一覧

基本目標5 食品ロスの削減と食に対する感謝の心の育成

ICT等のデジタル技術などを有効活用して「食品ロス」の認知向上に関する啓発事業を進めます。
食を通じて様々な感謝の気持ちや、食べ物大切さ、「もったいない」という心の育成を図ります。



組成調査



燃やすごみの中に手つかずのまま捨てられた食品がこんなにあったね。僕も食べ残しを出さないようにするね！



子どもの農業体験の様子



食ロスを考えよう



活動の中で共食を行っているよ！

基本目標3 地産地消の推進

給食での地場産物の使用率を高め、直売所や各種イベントで地場産物の提供を促進し、地産地消の重要性を積極的に発信する取組を引き続き進めていきます。



直売所の様子



輸送コストがかからない地場産物を購入することで、温室効果ガスの発生を抑えることができ、環境にもやさしいよ！



精華町の農作物直売所

基本目標6 食を通じたコミュニケーションの促進

家庭や地域での「共食」の機会を増やす工夫をしていきます。



共食を呼びかける街頭啓発の様子



地域と一緒に料理や食事をする交流の機会を増やそう！！



いつも野菜カフェレストラン（せいか365プロジェクト）



わくわく健康里山の会（せいか365プロジェクト）



せいか365
マスコットキャラクター
いっちょー

せいか365プロジェクト：精華町が目指す健康（病気予防と元気増進）を推進するための住民参画型健康づくりプロジェクト。



せいか365
プロジェクト
活動紹介